

活動実施報告書 (令和4年度)

名称：社会福祉法人 伊敷福祉会 伊敷保育園

所在地：鹿児島市伊敷7丁目8番20号

電話番号：099-228-7850

代表者： 園長 池堂 猛彦 担当： 林 和美

4月： 生き物 (自然) を大切にしよう

取組内容

園庭で見つけた生き物に触れ合い、観察・飼育することで、様々な発見や生命の尊さ、生き物への優しさを学ぶ。

取組結果・感想等

保育園の駐車場にある木にいた幼虫を発見し、育ててみると、子どもたちは「葉っぱを食べるんだ」と興味津々。日に日に成長する幼虫を観察し、とうとう、さなぎから蝶にまで成長することに成功。園庭で、「ばいばーい」「元気でねー」と、蝶の旅立ちを祈るように見守りました。

また、園庭にカニを発見。初めて見る子どもも多く、「みせて、みせて！」とバケツを次々覗き込む子どもたち。「あそこ(甲突川)から来たのかなあ〜?」「水がないとかわいそうだよ」と生き物に興味を持ち、大切にしようとする気持ちは子どもたちに育まれているようでした。

活動の様子 (写真等)



5月： 水を大切に (節水)

取組内容

紙芝居を通して、水の大切さを学び、節水を意識する。

取組結果・感想等

紙芝居を通して、節水だけではなく、様々な省エネについて学ぶことができた。その中でも、節水のことについて取り上げ、水を出しっぱなしにすると、どのくらい水が無駄になっているのか知ることができ、大変驚いていた。また、日頃の生活の中でも、子どもたち同士で、「水がもったいないよ」「出しすぎだよ」と声を掛け合う姿も見られ、節水に対する意識が見られました。

活動の様子 (写真等)



6 月： 物（資源）を大切に

取組内容

物や玩具を大切に使えるように意識する。

取組結果・感想等

カレンダーの裏面を利用して、自由にお絵かきをする、大きな紙にのびのび描くことができ、楽しんでいました。お友達と譲り合ったり協力して作品にしたりする姿も見られていました。

また、広告紙で作った折り紙にも興味津々で、広告の絵や文字にも注目しながら楽しんでおりました。

これからも、身近なもので遊べる工夫をしていきたいです。

活動の様子（写真等）



7 月： 花や野菜で色水を作ろう

取組内容

赤しそで色水を作り、色水を使って製作する。

取組結果・感想等

赤しそを使って色水を作り、匂いを嗅いだり、クエン酸や重曹を使って色の変化を楽しんだりしました。子どもたちは、「うめぼしのおいがする〜」「変なおい〜」と反応は様々でしたが、赤からピンクに変わったり、緑に変わったりすると、興味津々で不思議そうに覗き込んでいました。作った色水を使い自分の好きな色で、スポンジや筆で絵を描くと、「すごい」「絵具みたい」と植物からも色水ができることにとても感動していました。

活動の様子（写真等）



8月： 廃材を使って玩具を作ろう

取組内容

廃材を使って玩具を作り、資源の大切さを学ぶ。

取組結果・感想等

「三匹の子ぶた」の絵本をみると自分たちも段ボールを使って、お家を作りたい！ということで、段ボールに絵を描いて自分たちの家を完成させることができました。家が完成すると、窓から顔をのぞかせて楽しそうに遊んでいました。また、ラップの芯と新聞ボールでゴルフを作ると、園庭でのびのびゴルフ大会開始！身近なものも工夫すれば玩具が作れることに驚いていました。

活動の様子（写真等）



9月： 電気を大切に（節電）

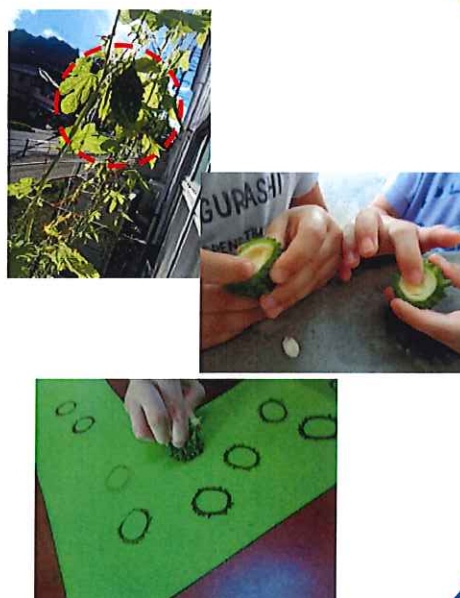
取組内容

グリーンカーテンの意味や目的を知り、節電を意識する。

取組結果・感想等

環境未来館からいただいたゴーヤの苗を植えて、グリーンカーテンにしてみました。育ったゴーヤを見せると、子どもたちは「ほいくえんになってるよね」「しってる！」「ゴーヤだ！」など興味深々でした。半分に切ってみると、「さわりたい～」「ふわふわしてる」「へんなにおい」と反応は様々でしたが、グリーンカーテンにすることで、「陰になって涼しくなるね」など、節電につながる子どもの反応を聞くことができました。最後は、ゴーヤを使って野菜スタンプをして楽しみました。

活動の様子（写真等）



10月： 食べ物の大切さを知ろう

取組内容

子どもたちに給食の残食の実態を伝え、紙芝居などで食べ物の大切さを学ぶ。

取組結果・感想等

栄養士から毎日の残食の実態を一日分、一週間分、一か月分、一年分と絵にして分かりやすく伝えると、子どもたちは残食の多さに驚いていました。その後、多くの子どもが苦手な野菜をいくつか取り上げ、栄養素について分かりやすく話をしてもらうことで、毎日の給食は栄養バランスを考えて作られており、食べることへの意味を学ぶことができました。そのため、子どもたちは、給食時間に残さず食べるように心がけるようになりました。

活動の様子（写真等）



11月： 残食を減らそう！

取組内容

栄養士から残食の実態と食べ物の大切さを学び、残食を減らすよう実践する。

取組結果・感想等

栄養士の話を聞いてから2か月間、「残食を減らそう」を目標にして取り組んでいた結果、子どもたちの給食への関心も増え、意識も変わり、残さず食べることができるようになりました。体験型おやつを取り組みもあり、おいもパンを芋ほりのようにして食を楽しむ工夫をしたことから、残食も今まで以上に減り、効果が出たのではないかと思います。これからも、食べ物を大切にすることや、感謝の気持ちを忘れずに持ち続けることを伝えていけるようにしていきたいです。

活動の様子（写真等）



12月： ゴミの分別って何だろう

取組内容

鹿児島市のゴミの分別の仕組みを学び、実践する。

取組結果・感想等

子どもたちに、家庭でどのようなゴミの分別をしているかを事前に見てきてもらい、保育園で実際に絵を使って、分別してもらいました。子ども同士で話し合っ分り、さらに発展するとゴミの分別をすることによってリサイクルされているということを知り、ただ捨てているだけではないことを学びました。家庭でも実践し、今後役に立てそうです。

活動の様子（写真等）



1月： リサイクルの仕組みを知ろう

取組内容

リサイクルの仕組みを学び、資源の大切さやリサイクル製品を身近に感じる。

取組結果・感想等

紙芝居を通して、リサイクルの意味を知り、ごみに捨てていたものが新たな製品に変わることには驚いていた。また、身近な製品についているマークの意味や、リサイクルの仕組みを知ることで、リサイクル製品を身近に感じることができていました。実際にマークを見つけて、分別してみると、一つの製品にいくつかのマークがついていて、「これどっちな〜」と話し合いながら分別する姿が見られていました。リサイクルが身近に感じたようでした。

活動の様子（写真等）



2月： 廃材を使ってひな人形を作ろう

取組内容

身近な廃材を使ってひな人形を作り、資源の大切さを学ぶ。

取組結果・感想等

家庭から集めた牛乳パックや新聞紙、トイレットペーパーの芯を使い、ひな人形を各クラスで作りました。身近な廃材であるため、子どもたちは出来上がりの変身を楽しんでいました。保護者に「これ牛乳パックだよ！」「トイレットペーパーで使ったんだよ」など説明し、エコに家庭も協力してできた作品となりました。廃材で作ったとは思えない、手作りならではの温かみのある、ひな人形に製作の幅が広がりました。

活動の様子（写真等）



3月： エコ取り組みの報告・来年の予定

取組内容

各クラスの取り組みの報告や、来年度の取り組みを決め、園だよりなどに掲載する。

取組結果・感想等

取り組んだ活動報告を、園内の掲示板に掲示をしたら、保護者の方も興味深く見ていました。簡単なことから始められるので保育園内の活動だけにせず、家庭でも意識して取り組んでいただけたらと思いました。
また、今年度は園全体で幅広い年齢層の子どもたちがエコ活動に取り組んでくれたので、来年度も、誰でも簡単に取り組める活動内容を紹介していけたらと感じました。

活動の様子（写真等）



1年間取り組んだ感想・ご意見

エコ活動を意識した保育を取り入れ始めて5年目となりましたが、子どもたちは興味深く取り組んでくれました。今年度も自然と関わる機会が多く、園外保育での「ぶどうがり」や「おいもほり」「みかんがり」、園内では「蝶の孵化」や「カニの登場」に出会えたことや、「ゴーヤのグリーンカーテン」など命の尊さを感じる一年でした。また、環境や自然に関する活動が食育にも発展し、繋がりのある充実した保育ができたことに感謝し、来年度も、紗良のエコ活動が定着していけるようになればいいと思います。